

コープ災害ボランティア ネットワークニュース

【 96 号】2018年7月

東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティア
ネットワーク幹事会
TEL: 03-3383-7800

第16回総会開催、全議案可決で終了しました。

7月14日(土)、東京都生協連会館において、第16回コープ災害ボランティアネットワーク(以下CO災ボ)総会が開催されました。当日は、実出席33人、委任131人で全議案が速やかに可決されました。

前週に西日本を襲った豪雨による甚大な被害に、心が痛む日の総会となり、CO災ボの活動を改めて考える機会となりました。

➤開会挨拶では、秋山専務理事より平成30年7月西日本豪雨災害でお亡くなりになった多くの方や甚大な被害に苦しんでいる方々へのお見舞いの言葉が述べられました。

また、改めてCO災ボの強みを活かし、市民ができる「地域」防災での活動に期待していることと、いままでの大災害被災者がさらに声をあげにくい環境にならないよう、これまで同様に被災者に寄り添う支援をCO災ボ会員と一緒に進めていきましょうと話されました。



東京都生協連：秋山専務理事



野崎代表幹事



白上副代表幹事

➤私たちの活動は、協同組合だからこそこのネットワークで、平和、共生、人間らしく生き続けられる社会をつくるために、大勢の私たちが協同して事業を行っていること、CO災ボの活動や学びを通して自然災害にあっても自分と家族を守ることが未来を創るために大事なことだと考え、これからも活動していきます。引き続き、ご理解ご協力をお願いします。(野崎代表理事)

【議案】

- ◆第1号議案：2017年度活動報告承認の件
- ◆第2号議案：2018年度活動方針承認の件
- ◆第3号議案：会則の一部変更の件
- ◆第4号議案：2018年度幹事選出の件

◆第3号議案の会則の変更は、第16期生募集時から中野区の3町会にも声掛けをし、一緒に進めたことで、今後は、生協職員・組合員以外のCO災ボ会員が増えていくことが想定されるため、特別会員枠を設ける事を会則に追加したことを承認していただきました。

【2018年度幹事】 (☆は新任)

- ◆第4号議案で承認された《2018年度幹事》
- 渡辺 敢 (コープみらい・職員) ☆
- 野崎雅利 (生活クラブ連合会・職員) 代表幹事
- 平野浩孝 (パルシステム東京・職員)
- 白上勝治 (東都生協・職員) 副代表幹事
- 宮本陽子 (コープみらい・組合員)
- 小松泰子 (コープみらい・組合員)
- 中村佳子 (パルシステム東京・組合員)
- 西 裕子 (東都生協・組合員)

※ 総会終了後の第1回幹事会において、代表幹事と副代表幹事が互選されました。

《学習会・交流会》いつもの暮らしの中でできる減災



楽しい語り口で参加者を引き付ける
水島重光氏

講師の水島重光氏は、生活協同組合コープこうべに入職、1995年の阪神淡路大震災に遭遇し、西宮市で被災者救援と事業所再建に奔走されました。

その経験を基に、新潟中越地震や東日本大震災の際には、先遣隊として現地で大変な働きをされました。その経験を踏まえ、内閣府「防災ボランティア活動検討会」メンバーに指名されるなどを経て、2014年に一般社団法人まちかど防災『減災塾』を設立され、市民向け減災講座を展開されています。

少子高齢化社会の防災の在り方

自治会・町内会限界説が囁かれる昨今です。人口減少・少子高齢化で弱者が激増する中では、助ける人より、助けてほしい人が急増している。歴史的感覚においては、関東平野、首都圏も危険度が高まってきている(千葉、横浜、水戸市)

自助と共助の強化

- 1) 食料・水・トイレ(備えの強化)
- 2) 避難所の現実
- 3) 在宅避難の課題
- 4) 支援と受援の現実と課題
- 5) 災害弱者の急増問題

《食料・水・トイレ(備えの強化)》

自然災害は近くても遠くで起きても物流の関係で私たちの暮らしに影響が及ぶ時代です。想定されることはライフラインの停止に伴う被害です。特に重要なのがエネルギーと生活用品不足が長期化すること。日本は地震大国です。

行政の支援物資は、主に4日後から…

忘れないで！行政の人たちも被災者だと

物流が停止！色々なものが手に入らない

《在宅避難の課題》

情報がなかなか入ってこない！
物資がなかなか届かない！

《災害弱者の急増問題》

災害弱者の認識を持つことが大切、知っていますか？災害弱者！
主な災害弱者とは…高齢者、乳幼児、病人、けが人、乳幼児を抱えたパパ・ママ、外国人、観光客(自分も旅行先で)などなど

《避難所の現実》

まずは避難所を理解しましょう！

- 1、一般避難所(学校や市の施設)
：主に自主防災会が避難所運営に携わる
- 2、福祉避難所(市の指定施設)
：一般避難者と区別、専任者対応
- 3、企業の民間施設避難所(備蓄あり)
：受入れ人数と日数の限定有り
- 4、在宅(自宅)選択避難所(自活覚悟)：情報不足、物資不足になる

みなさんの自治体でも急増します！

避難行動にハンディがあったり、自力での避難が困難な人だったり、近所にもたくさんいるはず
です。中には、認定されていない弱者も…みんなで見守りましょう！



みなさんからのアンケートを基に、日常の備えについてグループで意見交換をしました。「そうすればいいのか!」「その備えが大切だね〜」と、たくさんの気づきに、各グループでのお話しが盛り上がっていました。

《総会返信はがきアンケートから》抜粋

地域や生協での防災・減災活動

- ・生活クラブ生協の学習会で身近な防災・減災のお話しカフェ開催
- ・コープの会で「東京のくらし防災」を一緒に読む
- ・足立区災害ボランティア登録をしている
- ・8月に、毎年、防災センターにて訓練

減災の工夫（多く寄せられた意見）

- ・備蓄、防災リュックの備え
- ・ローリングストックの実践
- ・「東京くらし防災」をリビングの本立てに置きいつでも誰でも見られるようにしている。
- ・高い家具を置かない
- ・家具の固定

※はがきアンケート、ご協力ありがとうございました。

実践! ~台所の食料を有効に使う~

- （知る事）自宅の備蓄等の食料の事前点検
- （道具）具体的に煮炊き出来る道具を備える
- （食べる順番が重要）救援物資が届くまで台所食材を活用（冷凍庫食材調理→保存食へ）
- （助け合う）ご近所と協力し生き抜く

在宅避難時の食品の摂り方

- ① 冷凍庫食材を調理加工
- ② 要冷蔵品を調理加工
- ③ 最後にカップラーメン等の保存食などを活用
- ④ 避難所での食料配給も活用

- ◆ 食べるものを捨てない工夫
- ◆ 日頃から買い足し備蓄



★総会参加の会員のみなさんには、今年3月発行の「東京くらし防災」を配布しました。女性の視点での防災・減災についての情報などが満載です。配布場所は、地域によってそれぞれですが、ぜひお手元に備えられることをおすすめします。



グループに入り、いろいろアドバイス「なるほどなるほど」と感心

大人用の紙おむつの吸収力はすごいので、用意しておくといいよ。小銭も持っていないと大変! 私は、2000円を小銭で家族の人数分を常に用意しておいてあるよ。

それからビニールシート、屋根にかぶせたり敷物にしたり、大活躍するので、是非用意しておいて。

（水島さんアドバイス）

《参加会員アンケートより》抜粋

- ・複合的な災害に対する心構え、準備がより一層必要だと思いました。
- ・まだまだ備えが不十分だと反省した。今日かまた改めて減災に取り組みたい。
- ・新しく知った情報をみなさんに伝えたい。
- ・講師の講義内容が素晴らしかった。
- ・交流会資料に、たくさんの知識があり、助かりました。
- ・分散備蓄の必要性。
- ・視点を変えることにより、減災に役立つ工夫できる気がしました。

